

日本オーストリア友好 150 周年記念公式コンサート



Naoko Gotoh & Rasumofsky Quartett, Wien



PROGRAM

ハイドン：弦楽四重奏曲 ニ長調 Hob.III-63 「ひばり」
Joseph Haydn: Streichquartett D-Dur Hob.III-63 "Lerchen"

ドホナーニ：ピアノ五重奏曲 第 2 番 変ホ短調 作品 26
Ernst von Dohnányi: Klavierquintett Nr.2 es-moll Op.26

山田耕筰：「からたちの花」弦楽四重奏版
Kosaku Yamada: "Karatachi no Hana" für Streichquartett

シューマン：ピアノ五重奏曲 変ホ長調 作品 44
R.Schumann: Klavierquintett Es-Dur Op.44

2019.12.8(SUN) 14:00 開演 (13:30 開場)

サントリーホール ブルーローズ (小ホール)

〒107-8403 東京都港区赤坂 1-13-1 TEL:03-3505-1001

全自由席 ¥4,000

前売：ソレイユ音楽事務所 TEL：03-3863-5552

チケットぴあ <http://t.pia.jp/> (Pコード:163-724)

※未就学児のご入場はご遠慮ください。 Web「チケットの王様」 <http://www.soleilmusic.com>

サントリーホールチケットセンター TEL：0570-55-0017 <http://suntoryhall.pia.jp/>

主催：ソレイユ音楽事務所 03-3863-5552 <http://www.soleilmusic.com>

後援：オーストリア大使館 / オーストリア文化フォーラム・月刊「音楽現代」



後藤直子 (ピアノ)

Naoko Gotoh, Klavier

東京音楽大学卒業。英国ダーティントン・インターナショナル・サマースクールのピアノマスタークラスのオーディションに合格し、故ベルルミュテール、スティーブン・ビショップ・コヴァチエヴィチの両氏にレッスン受講。また、霧島国際音楽祭ピアノマスタークラスにて、ダン・タイ・ソン氏にレッスンを受講。北海道ニセコで行われた、JAL サマーミュージックキャンプに参加。安永徹、名倉淑子、小山昭雄の諸氏にレッスン受講。沖縄ムーンビーチミュージックキャンプに参加。岩崎淑氏に師事。東京ニューシティ管弦楽団と共演し、好演を博す。第9回ソレイユ音楽コンクールにおいて、優秀賞を受賞。以降、ウィーン、東京にて、ソロや室内楽のコンサートで活躍している。アダルベルト・スコチッチ (Vc)、アドリアン・コックス (Pf)、ウルリーケ・ダンホーファー (Vn)、ラインハルト・ラツコ氏 (Vc) と共演。2005年にウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団と初共演。2011年10月、ウィーン、アントン・デルモータホールにてウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団と再共演。同年、東京・王子ホールでも共演、以降、2013年、2015年、2018年に彼らとのコンサートを行った。現在、志村安英、ライナー・ホフマンの両氏に師事。ソレイユ演奏会員。

ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団

Rasumofsky Quartett, Wien

「ウィーン・ラズモフスキー弦楽四重奏団」は2001年、ウィーン放送交響楽団のトップメンバーたちによって結成。これまで9回の来日では全国各地で公演を行い、その調和のとれた音楽で観客を魅了し、室内楽の楽しさ、素晴らしさを伝え、絶賛を博した。2011年から2人の新しいメンバーを加えて、ますますハイレベルでエネルギー溢れる演奏を披露している。



フランツ・ジーゲルト (ヴァイオリン)

Franz Siegert, 1st Violin

ドレスデンに生まれる。ウィーン国立音楽大学にてクリスチャン・アルテンブルガーに師事し、2009年同大学院修士課程を最優秀で修了。2008年よりG. マラー青少年オーケストラのコンサートマスターを務め、またバイエルン国立歌劇場及びバイエルン国立オーケストラ、ロンドンフィルのゲストコンサートマスターを務める他、ウィーン国立歌劇場、ウィーンフィルでも演奏する。2009年よりウィーン放送交響楽団コンサートマスターを務める。



スティーブン・モラー (ヴァイオリン)

Steven Mohler, 2nd Violin

アリゾナ大学、カリフォルニア大学を卒業後、ウィーン国立音楽大学にてクラウス・メツル、ギュンター・ビヒラー両教授に師事。ピクトリア交響楽団 (カナダ)、ピアチェンツァ交響楽団 (イタリア) のコンサートマスター、またハイデルベルグ市交響楽団、ウィーン室内管弦楽団を経て、現在ウィーン放送交響楽団の第2ヴァイオリン首席を務める。また、ウィーン九重奏団の一員として室内楽でも活躍。



トーマス・ブンバル (ヴィオラ)

Tomas Bumbal, Viola

ブラティスラヴァに生まれる。5歳よりヴァイオリンを始め、ブラティスラヴァ音楽院を経て、2003年ウィーン国立音楽大学を最優秀で卒業。ヴァイオリンをフランツ・サモイ、ヴィオラをハンス・ペーター・オクセンホーファーに師事。2003年よりウィーン放送交響楽団の首席代理を務める。また平行して室内楽の活動も精力的に行っている。



ティル・シュスラー (チェロ)

Till Schuessler, Violoncello

ケルン国立音楽大学にてクルト・ヘルツブルック、ウィーン国立音楽大学にてバレンティン・エルベン両教授に師事。その間、室内楽をアマデウス・カルテット、アルバン・ベルグ・カルテットに師事。ウィーン室内管弦楽団首席を経て、現在ウィーン放送交響楽団の首席チェロ奏者を務める傍ら、夏期講習、マスタークラスなどで後進の指導にも当たっている。

Photo: Nancy Horowitz



ホールご案内

サントリーホール ブルーローズ (小ホール)

〒107-8403 東京都港区赤坂 1-13-1 TEL:03-3505-1001

[交通のご案内]

■電車をご利用の場合

- ◎東京メトロ銀座線 溜池山王駅・13番出口 改札より徒歩約7分
- ◎東京メトロ南北線 溜池山王駅・13番出口 改札より徒歩約10分
- ◎東京メトロ南北線 六本木一丁目駅・3番出口 改札より徒歩約5分

■バスをご利用の場合

- ◎都営01系統バス (渋谷～新橋) 赤坂アークヒルズ / 赤坂アークヒルズ前 下車 徒歩2～3分